

令和2年3月1日

関係国公立大学長
関係研究機関の長 殿
海外関係研究機関の長

千葉大学大学院園芸学研究科長 小林達明

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は本研究科の教育研究にご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。さて、本研究科では、下記のとおり教員を公募することにいたしましたので、ご高配のほどお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募の対象分野

- (1) 職種, 公募人数 大学院園芸学研究科・環境園芸学専攻・園芸科学コース（令和2年4月発足予定）の教授, 准教授または講師のいずれか1名
- (2) 教育研究領域 食料資源経済学領域
- (3) 主要な担当予定授業科目
 - 博士後期課程 特別研究Ⅱ, 特別演習Ⅱ, その他分担科目
 - 博士前期課程 特別研究Ⅰ, 特別演習Ⅰ, その他分担科目
 - 学部 卒業研究, 専門演習1・2, 農業経営学, フードシステム学演習, ソーシャル・ファーム演習・実習, その他分担科目
 - その他 公開講座など

2. 応募条件等

- (1) 博士の学位を有すること
- (2) 着任予定: 令和2年10月1日以降のできるだけ早い時期
- (3) 募集する教育研究領域と教員構成

今回、教員を募集する食料資源経済学領域は、園芸関連産業の発展と関連科学の発展に寄与することを目標に本年4月より発足する園芸科学コースを構成する教育研究領域です。また、食の生産から流通・消費にわたる主体間の相互関係を体系的に捉え、各種の食料・食品産業問題を解明しようとするフードシステム学分野と、国内外で起きている様々な社会問題を農業・農村の有する公益性と地域資源の有効利用によって解決しようとする資源環境経済学分野からなっています。領域を構成する教員は、令和2年4月1日現在で教授4名、准教授2名、講師1名、助教1名です。

(4) 求める人材

わが国では障害者や高齢者をはじめとした社会的弱者の存在と都市部への集中が問題となっています。一方、農業分野でも、担い手不足と耕作放棄が、食料自給率の低下や鳥獣被害などを引き起こしています。今回、募集するのは、そうした現代社会の有する福祉、農業、両分野の課題を解決するために、農の持つ自然・産業・文化的価値を持続可能なまちづくり・人づくりに生かすことのできる人材です。取り組んでいることが望ましい研究分野としては、伝統的な農業経営学にとどまらず、欧米で社会的弱者の農業参画を目指す取り組みとして注目されているソーシャル・ファームや、わが国で事業が拡大している農福連携などが挙げられます。こうした分野において、①現場の要請に応えつつ民間レベルの持続性を考慮した新たなビジネスモデルを構築・分析できる人材、②行政とも連携した大型研究プロ

ジェクトの計画および遂行のできる人材、③国際的視点から先進的な共同研究を実施できる人材を求めます。

なお、担当予定の主な授業は日本語ですが、分担いただくいくつかの科目においては英語での対応も求められます。また、大学のその他の管理運営に対しても積極的に関与していただくことが求められます。女性、外国人の応募を歓迎します。

3. 応募書類※

- (1) 履歴書 2 通
- (2) 研究業績目録 2 通
- (3) 学術論文・著書の代表的なもの 10 編以内を各 1 通(複写物可)
- (4) 教育業績調書 2 通
- (5) 特記事項(科研費採択実績、その他外部資金取得実績等を記載してください)
- (6) 現在までの教育研究の概要と今後の教育研究上の抱負(A4 版に 2,000 字程度) 2 通
- (7) 応募者の人物像をよく知る方 2 名のお名前と連絡先を記載してください。

※所定の様式を下記 URL から入手して作成してください。また、応募書類の PDF ファイルを保存したメディアも同封してください。なお、応募書類は返却しません。

<http://www.h.chiba-u.jp/sitemap/teacher/format/index.html>

4. 応募期限 令和 2 年 4 月 30 日(木) 必着

5. 応募書類の送付先※および問い合わせ先

千葉大学園芸学部食料資源経済学科学科長 栗原伸一

〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 番地

電話 047-308-8917 E-mail: kuri@faculty.chiba-u.jp

※封筒に「食資教員応募書類在中」と朱書きの上、書留郵便など配達記録が残る手段でお送りください。

6. 応募書類の作成要領

- (1) 履歴書：学歴は高校卒業から記入し、外国における留学および研究は 6 ヶ月以上滞在の履歴のみ記入してください。
- (2) 研究業績目録
 - 1) 原著論文
 - A) 学会誌や学術誌などでレフリー制度のあるもの
 - B) その他の論文：大学の学術報告(紀要)、研究会誌、試験場報告、シンポジウムなどの掲載論文
 - 2) 著書および訳書…単著と共著を区別し、共著は分担部分を明記してください。
 - 3) 報告書
 - 4) 総説・資料・書評など
 - 5) 普及・実用記事など
 - 6) 学会・研究会・講演会・シンポジウム・セミナーなどでの発表…最近 5 年間の発表で、要旨集などに収載された主要なもの 10 編以内(ただし、発表の総数をこの欄の最後に、ほか□□編と記入してください。)
 - 7) 計画・設計…雑誌などに掲載されたものと、それ以外を分けて記載してください。
 - 8) 特許など
 - 9) 資格・技術
- (3) 教育業績調書：これまで担当したことのある授業科目、演習、研究指導など(学部、大学院、その他)があれば、その一覧。
- (4) 特記事項など：A4 用紙(様式は問いません)に項目別に整理して記入してください。

7. 任期等 常勤（任期なし）

8. 待 遇 給与は、本学給与規程に基づき決定します。なお、給与は年俸制を予定しています。

9. その他

（１）書類による選考後、来学してセミナーおよび面接をしていただきますが、旅費は支給されません。

（２）関連業績について、追加の資料提出を求める場合もあります。

以上